

# 告 辞

本日、ご来賓並びにご関係の皆様のご臨席を頂き、平成三十年度 函館工業高等専門学校 第五十三回卒業証書授与式 および第十四回専攻科修了証書授与式 が挙行できましたことは、私ども教職員にとりまして、大きな喜びとするところでございます。

今年度は、本科卒業生が 外国人留学生一名を含み 百八十六名、専攻科修了生が 二十名であります。卒業生、修了生の皆さん、全ての教職員に代わりました、心よりお祝いを申し上げます。

卒業・修了、おめでとうございます。

これまで皆さんを見守り、そして支え続けてこられた ご家族の皆様方、心よりお慶び申し上げます。

本校 函館工業高等専門学校は、五十七年前の昭和三十一年、国立工業高等専門学校一期校 全国十二校の二校として、この函館の地に開校しております。当時我が国は、経済発展の高度成長期にあり、産業を支える工学技術者の養成が急務でありました。そのため、国立大学の工学部の拡充と同時に、新しい学校制度である高等専門学校が誕生しました。高等専門学校は 中学校卒業生を受け入れて、高等学校から大学工学部卒業までの7年間を 2年短縮した5年一貫で 大学卒業レベルの高度な専門教育を実施する高等教育機関であります。

高等専門学校の使命は、まさしく、社会に期待される人材として、科学的思考を身につけた実践的・創造的技術者を養成し、社会に送り出すことでもあります。このことは、今日も何ら変わりはありません。

本校は、機械工学科、電気工学科、土木工学科の三学科でスタートし、昭和四十一年に工業化学科、平成三年に情報工学科が設置され、五学科体制とな

りました。平成二十五年には、生産システム工学科、物質環境工学科、社会基盤工学科の三学科体制に再編し、社会や産業界の期待に応えるべく、融合化した工学教育を実践してきました。今年度は新学科の二回目の卒業となります。

専攻科については、平成十六年に設置されています。平成三十年には生産システム工学専攻、物質環境工学専攻、社会基盤工学専攻の三専攻体制となっております。今回が旧専攻科最後の修了生となります。

現在、国立の高等専門学校は、全国に五十一校五十五キャンパスに拡大・発展し、全体の入学定員は百八十五学科九千三百六十名です。若者世代の同一年齢の人口が約百二十万人ですので、皆さんと同じ年齢のほぼ一パーセントが高専で学んでいることになりました。今年も皆さんと一緒に 約一万人が、全国の高専を卒業します。本科の皆さんには、全国に約一万人の高専同期生がいることになります。大

変心強いことです。また専攻科生は、全国で約千百人が今年修了いたします。

全国五十一校の国立高専は 独立行政法人国立高等専門学校機構のもとに置かれ、一体的に運営されています。その利点から高専教育の特徴は、高専教育の質の保証にあります。すなわち国立高専は、卒業生の能力・学力・知識が、全国一定のレベルにあることを保証しています。

同じ年代で一パーセントの函館高専を選んで、卒業する皆さんは、全国水準の高専教育を、この函館で受け、そして身につけた学力は、全国レベルにあります。函館高専で学んだことへの誇りと同時に、厳しい高専教育の目標を立派に達成したことへの確固たる自信を持ってもらいたいと思います。

皆さんは多くの人に支えられて、そして助けられて今日ここまで来たわけです。ご家族へのご恩や愛情を忘れないで下さい。皆さんを直接 教育・指導

してくれた先生方への感謝の気持ちも、忘れないで  
もらいたいと思います。

皆さんは本校でたくさんを経験し、そして  
たくさんの良い思い出を、周りの友人と一緒に作る  
ことができました。ここで得た多くの友人は、かけ  
がいのない財産です。五年間の高専で培った絆は強  
いものです。これからもお互いを高め合い、そして  
大切にして下さい。

皆さんにとっては、卒業が次へのスタートとなり  
ます。大学に進学する皆さん、専攻科に進学する皆  
さん、就職する皆さん、函館高専で学んだこと、経  
験したこと、そして卒業したこと、修了したことを  
誇りに思っ次ステップを力強く駆け上がって  
下さい。

私たちの社会は、これまで経験のないほどの大き

な時代のうねりの中にいます。産業技術、特に、情報技術の急激な進歩は目を見張るものがあります。高度な情報技術が社会や私たちの生活の隅々まで浸透し、これまでにない新たな価値観を生み出し、新しい社会制度や生活様式が築かれようとしています。このことが、まさしくソサイエティ5・0と  
いうことです。

地域、年齢、性別、言語等による格差なく 多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することで 経済的発展と社会的課題の解決が両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会とされています。

人工知能（AI）に代表される高度な科学技術が新たなフェーズとなり、ソサイエティ5・0という新しいスマート社会の実現に向けて、科学技術が集約されることとなります。

ソサイエティ5・0において 我々が経験する変化は、これまでの延長線上にはない劇的な変化です。その中で人間らしく豊かに生きていくために必要な力は、これまで誰も見たことがない特殊な能力では決してありません。むしろ、どのような時代を迎えるとしても、知識・技能、思考力・判断力・表現力をベースとして、言葉や文化、時間や場所を超えながらも 自己の主体性を軸にした一人一人の能力や人間性が問われることになります。

皆さんは、すでに次世代の科学技術を担う素養と基礎知識を学びました。これからは、ソサイエティ5・0といったスマート社会実現に向けた技術開発や課題解決をしっかりと担ってもらいたいと思います。

社会の動向に敏感で、そして国際的な貢献も視野に入れた技術者として、人間としての感性を磨き、

これから来る新たな社会に向けて、準備を万全とし、大いに活躍して頂きたいと思えます。

最後になりますが、本校、初代校長である太秦康光先生が唱えた、本校の校訓「汝が夢を持って、大志を抱け、力強かれ」、この活力と希望みなぎる言葉を、改めて卒業・修了する皆さんへのはなむけの言葉とし、告辞といたします。

平成三十一年三月十五日

函館工業高等専門学校長

但野 茂